

# シーボルト年表

西暦(和暦) シーボルトの活動(年齢)

- 1796(寛政8) 2月17日、バイエルン王国ヴェルツブルクに誕生
- 1822(文政5) オランダ領東インド陸軍外科少佐になる(26歳)
- 1823(文政6) 長崎到着(27歳)
- 1824(文政7) 鳴滝塾をひらく(28歳)
- 1826(文政9) 江戸参府(30歳)
- 1827(文政10) 娘いね誕生(31歳)
- 1828(文政11) シーボルト事件おこる(32歳)
- 1829(文政12) 国外追放(33歳)
- 1832(天保3) 「日本」刊行開始(36歳)
- 1833(天保4) 「日本動物誌」刊行開始(37歳)
- 1835(天保6) 「日本植物誌」刊行開始(39歳)
- 1859(安政6) 再渡来、長崎到着(63歳)
- 1861(文久元) 幕府から江戸へ招かれる(65歳)、翌年離日
- 1866(慶応2) 10月18日、ミュンヘンにて死亡(70歳)

## シーボルト記念館

〒850-0011 長崎市鳴滝2丁目7番40号  
TEL.095(823)0707 FAX.095(823)0170

※禁無断転載複写 © Siebold Memorial Museum  
表紙はエドアルド・キヨソネ画(明治8年(1875))

### 入館料

区分	個人	団体(15名以上)
一般	100円	80円
小・中学生	50円	30円

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日(祝日は開館)、12/29~1/3

駐車場 無料(普通車13台)



### JR長崎駅から

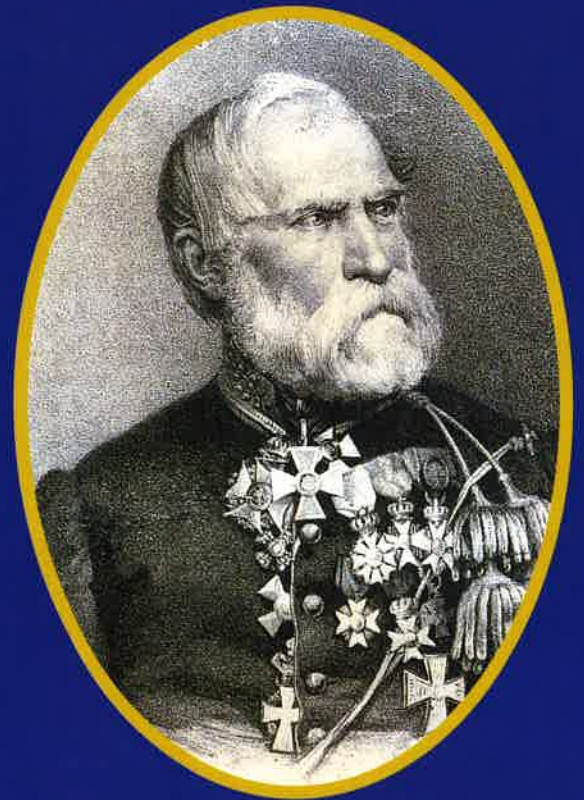
**路面電車** 長崎駅前 3番系統「はたるちや 炭茶屋」行で  
新中川町下車 徒歩約7分

**県営バス** 長崎駅前東口「東厚生町・矢上団地・網場」行で  
中川町下車 徒歩約7分

### スタンプ欄



# シーボルト記念館



*Jh. F. von Siebold*

## 1階ホール・ロビー

ロビーでは、映像でシーボルトの生涯を簡単に紹介しています。  
 (「ドクトル・フォン・シーボルト」上映時間約12分)

## 2階常設展示室

2階では、シーボルトの生涯を6つのコーナーに分けて紹介しています。吹き抜けの壁面では、シーボルト家の紋章をステンドグラスとレリーフで表現しています。

## 3階企画展示室

企画展示室では、年に数回の企画・特別展を開催しています。



フリップ・フランツ・フォン・シーボルトは、江戸時代の日本に西洋医学や博物学を伝え、科学的な総合調査にもとづきヨーロッパに日本を広く紹介しました。

本館は、日本の近代化に貢献したシーボルトを顕彰するために長崎市が設置したもので、平成元年(1989)10月1日に開館しました。国指定史跡シーボルト宅跡(鳴滝塾跡)に隣接しており、建物の外観はオランダ・ライデン市のシーボルト旧宅を、玄関はシーボルトの祖父カール・カスパー宅をイメージしたものです。

(◀シーボルト記念館外観写真)

# 常設展示室ご案内 2F



### ① 当時の世界と日本

シーボルトが渡来する頃の日本と世界の情勢を紹介します。

### ② 東洋への関心

シーボルトの生い立ちと、日本に関心を持つようになったいきさつ、そして長崎渡来までを紹介します。

### ③ 日本研究と医学教育

シーボルトは、出島と鳴滝塾を中心に日本の研究と日本人に対する医学教育を行いました。ここでは、その活動と業績を紹介합니다。



シーボルト蘭文免許状  
 (国認定重要美術品)



川原慶賀筆シーボルト肖像(複製)  
 (原資料:長崎歴史文化博物館収蔵)



薬籠(依シーボルト使用)  
 (国指定重要文化財)

### ④ 江戸参府前後

江戸参府とシーボルト事件のかかわりを、ビデオなどによりわかりやすく紹介します。

### ⑤ 帰国と再渡来

シーボルトの国外追放から、再渡来、死にいたるまでを、書簡・遺品などの資料により紹介します。



シーボルト宅写真



シーボルト妻子像螺鈿合子  
 (国指定重要文化財)



短銃(依シーボルト使用)  
 (国指定重要文化財)

### ⑥ 子孫と顕彰

シーボルトが日本に及ぼした影響と功績、シーボルトの著作、日本とヨーロッパに残る子孫などを紹介します。



榎本いね



シーボルトの息子たち  
 アレクサンダー(左)とハインリッヒ(右)  
 (フォン・ブランデンシュタイン=ツェッペリン家所蔵)

### 映像コーナー

司馬遼太郎(作家)や中西啓(医学史研究家)など、様々な人々がシーボルトの功績について語っています。

### ◆長崎市内のシーボルトゆかりの史跡◆

- ① 鳴滝塾跡(シーボルト宅跡)  
 「シーボルト先生宅址之碑」  
 1897年建立(西道仙撰文)
- ② 「ケンペル、ツェンペリー記念碑」(出島内)  
 1826年にシーボルトが建立
- ③ 「施福多君(シーボルト)記念碑」  
 1879年建立(立山1-1 長崎公園内)